

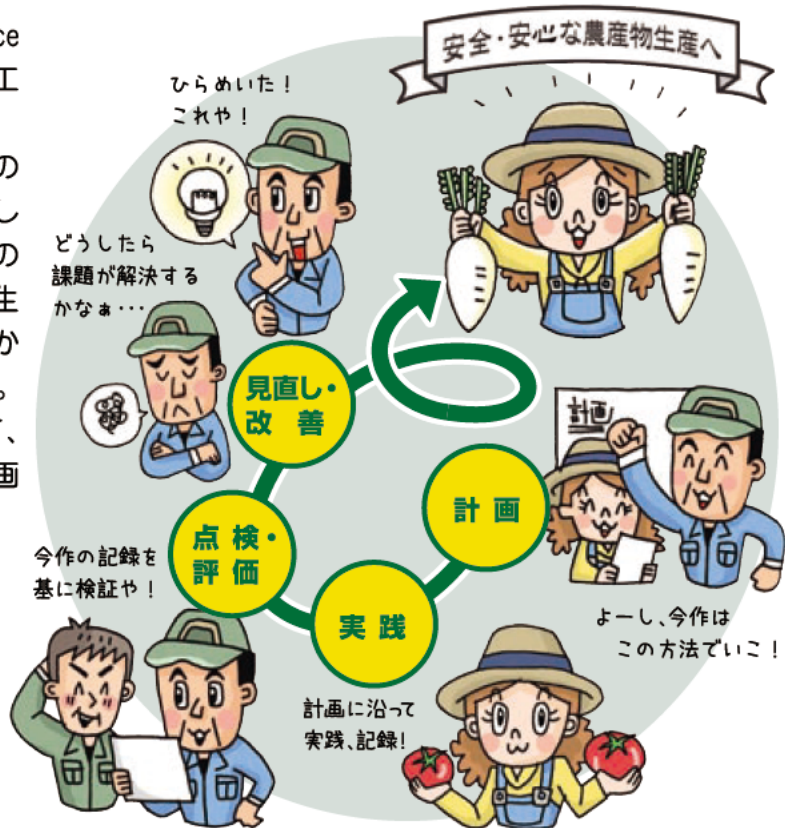
GAP(農業生産工程管理)に取り組み、

安全・安心な農産物を!!



GAPって何?

GAPはGood Agricultural Practiceの略で、日本語では「農業生産工程管理」と訳されています。生産活動における危害(農薬の残留や異物の混入など)が発生しないように栽培計画をたて、その計画に基づいて作業を行い、生産終了後に計画通りにできたかどうかを検証する取り組みです。そして、そのチェックを踏まえて、反省や改善を加え、次作の計画をたてます。



なぜGAPが必要なの?

作業環境の改善

課題を抽出し、改善していくことで仕事の効率化、作業場の衛生面での向上などが期待できます。

安全性の向上とトラブルの予防

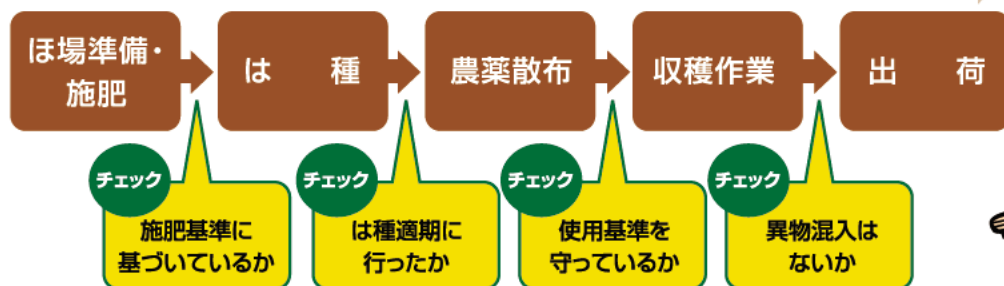
各工程で確認を行いながら作業をすすめることで、トラブルの発生を予防することができます。また、万が一トラブルが発生した場合も原因の究明がしやすくなります。

経営面での改善

改善を繰り返し、ムダを省くことで経営改善にもつながります。

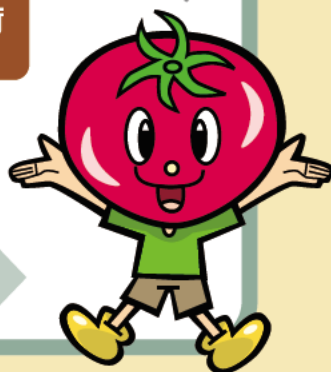
〈農作業の工程管理の一例〉

農作業の流れ



工程管理

一つ一つ確認をしながら作業するから、事故が発生しにくいんだ!



GAPの導入手順

ステップ1: Plan 計画をたてましょう

作業計画の策定

安全な農産物を栽培するために気を付けなければならない点を話し合い、作業確認のためチェックシートを作成します。

一人だけでやろうとせず、部会などと協力して取り組みやすいのよね!



その通り! 産地の取り組むGAPと生産者の取り組むGAPが助け合う。それが三重県型GAPなのだよ!

ステップ2: Do 実践しましょう

点検項目に基づく栽培と記録

点検項目(チェックシート)に従って必要な作業を実施し、作業が終わったら、作業日誌やチェックシートに作業内容を記録します。

ステップ2では、気付いた点を記録しておくことでステップ3で役に立つわね!

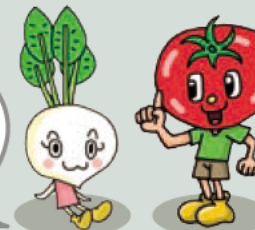


ステップ4: Action 見直し・改善をしましょう

見直し・改善

ステップ3の検討内容を踏まえ、次作に向けた検討を行います。特に実践できなかった項目については具体的な対策を考え、次年度のステップ1へとつなげます。

ステップ1~4を繰り返し実践することで生産活動のレベルアップを図るのね!



ステップ4の次は、再びステップ1。見直し・改善案を基に、計画を策定するんだ!

ステップ3: Check 点検・評価をしましょう

チェックシートや作業日誌の点検・評価

一連の作業が終了したら、「次作に向けて」に、生産工程についての情報交換・反省点・改善すべき点などを抽出します。

実践後は部会のメンバーや普及指導員が集まって意見交換を行うのだよ!



三重県版GAPとは?

生産者が個々に取り組む(生産者GAP)だけでなく、産地全体で助け合いながら地域全体で課題解決に取り組む手法(産地GAP)を三重県型GAPと定義しています。